

日本河川・流域再生ネットワーク <http://www.a-rr.net/jp/>  <https://www.facebook.com/JapanRRN>

「日本河川・流域再生ネットワーク（JRRN）」は、河川再生について共に考え、次の行動へ後押しする未来志向の情報を交換・共有することを通じ、各地域に相応しい河川再生の技術や仕組みづくりの発展に寄与することを目的に活動する団体です。またアジア河川・流域再生ネットワーク(ARRN)の日本窓口として、日本の優れた知見をアジアに向け発信し、海外の素晴らしい取組みを国内に還元する役割を担います。(Since 2006)

目次	Pages
➤ JRRN 事務局からのお知らせ	1
➤ JRRN 会員寄稿記事	3
➤ JRRN 会員・ARRN 関係者からのお知らせ	4

JRRN 事務局からのお知らせ (1) JRRN Activity Report

「桜のある水辺風景 2020」作品募集のご案内

「桜のある水辺写真 2020」の募集開始です。今年は新型コロナウイルスの影響で、各所で桜まつりが中止となり、行政からの花見や宴会の自粛要請も相次いでいます。桜の名所もいつもとは違った風景になるかもしれません。

しかし、桜の魅力は花見の賑わいだけではありません。水辺に咲く桜の姿に、私達はつい惹き込まれ、何かしらの想いにとらわれます。今年は自分だけの桜と水辺の魅力をじっくりと落ち着いて探してみたいかがでしょうか。そんな写真とメッセージをお待ちしています。

なお、桜を見に行く際には、人混みを避け、こまめな手洗いやマスクの着用など、感染対策を十分に行っておでかけください。

「桜のある水辺風景 2020」作品募集

▶応募〆切：2020年5月17日（日）

▶応募方法：メールと Facebook
詳しくは以下の案内ページを御覧ください。

▶作品募集案内ページ：
<http://jp.a-rr.net/jp/news/info/1114.html>

▶過去の写真集はこちらから：
<http://jp.a-rr.net/jp/activity/publication/category/cherryphotos>



撮影：永井啓男（2019年応募作品）

桜のある
水辺風景
2020

締切：2020年5月17日（日）

主催：JRRN

（日本河川・流域再生ネットワーク）
住所：東京都中央区新川1-17-24
web: <http://www.a-rr.net/jp/>



01 テーマ

2020年に撮影した、桜のある水辺風景の写真を募集します。

02 応募方法

- 1) メールもしくはFACEBOOKでご応募ください。
- 2) タイトル欄「桜のある水辺風景2020」
- 3) 記載内容：①氏名（ニックネーム可）②タイトル（撮影年月）③撮影場所（水辺名称地名）④写真コメント（メールアドレス）
- 4) 写真サイズ：10MBまで
- 5) その他：①本人が撮影した写真に限ります。②一人3点まで可能です。③個人が特定できる人物画像が含まれる場合は被写体の了承を御覧ください。④過度な画像加工はご遠慮ください。

03 応募先

メール：info@a-rr.net

FACEBOOK：右QRコードより



04 応募作品について

- 1) SNSで公開するとともに、写真集を作成しHPで公開します。
- 2) 賞金や賞品は特設ありません。
- 3) 企画費目にはならないと判断した場合は紹介を控させていただきます。
- 4) JRRNの刊行物やウェブサイト等で紹介させていただくことがあります。

（JRRN 事務局・阿部充）

JRRN 事務局からのお知らせ (2) JRRN Activity Report

小さな自然再生普及プロジェクト「水辺の小さな自然再生事例集 第2集」発行予告

日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN)では、市民が河川や水路の管理者と連携して日曜大工的に取り組める「小さな自然再生」に関わる事例集を 2015 年に発行しました。

今年度は、この事例集の続編として、新規の事例を盛り込んだ「水辺の小さな自然再生事例集 第2集」を目下制作中です。

本誌 10 月号にて中間報告後、全国の執筆/編集協力者の皆様のおかげをもちまして、2020 年 3 月下旬に発行の運びとなりました。事例集発行まであともうひと踏ん張り。ご協力の皆様にこの場をお借りして御礼申し上げます。



事務局での表紙デザインの検討
(右下が 2015 年発行の事例集)

できることから始めよう 水辺の小さな自然再生事例集 第2集

目次構成

はじめに

1. 水辺の小さな自然再生とは
2. 水辺の小さな自然再生を行うための留意点
3. 事例紹介

- ① 駒生川 (網走川水系) 【北海道】
- ② 豊平川 (石狩川水系) 【北海道】
- ③ 創成川 (石狩川水系) 【北海道】
- ④ 久知川 (久知川水系) 【新潟県】
- ⑤ 岩本川 (矢作川水系) 【愛知県】
- ⑥ 武儀川 (木曽川水系) 【岐阜県】
- ⑦ 吉川川 (淀川水系) 【滋賀県】
- ⑧ 家棟川 (淀川水系) 【滋賀県】
- ⑨ 福田川 (福田川水系) 【兵庫県】
- ⑩ 吉野川 (吉井川水系) 【岡山県】
- ⑪ 日和佐川 (日和佐川水系) 【徳島県】
- ⑫ 三崎川 (三崎川水系) 【高知県】
- ⑬ 静間川 (静間川水系) 【島根県】
- ⑭ 朽網川流域の休耕田 (朽網川水系) 【福岡県】

4. 巻末資料

編集・制作：「小さな自然再生」研究会

各事例執筆： 小さな自然再生の担い手の皆さま

発行／制作事務局：

日本河川・流域再生ネットワーク (JRRN)

書籍形態： A4 判ソフトカバー、カラー100 ページ (予定)



<表紙>

<裏表紙>

「事例集 第2集」の装丁イメージ

今回の事例集 (第2集) では、小さな自然再生に実践的に関わってこられた皆様に、活動の目的や歩み、活動を通じた施工上の工夫や効果、失敗談などの生の情報を盛り込んだ記事を執筆して頂きました。

なお、発行後の書籍の頒布方法のご案内及び PDF 版の公開は、JRRN ウェブサイトやニュースレター等を通じて行いますので、改めてご案内をさせていただきます。



(JRRN 事務局・澤田みつ子)

水辺からのメッセージ No.130

岡村幸二 (JRRN 会員)

風景をひとり占め：
陽ざし弱く空気は冷たいが 水辺の風景に心が温まる



撮影：2019年12月（東京都立川市・国営昭和記念公園）

◆国営公園の中心部・水鳥の池

当時、立川基地跡地を掘削して人工の池をつくる計画をしましたが、公園内を流れる残堀川の様子からも池に水が貯まるか心配されましたが、人工的遮水効果が功を奏して関係者をホッとさせたそうです。

◆静かな冬場の池を楽しむ

池には冬の季節には来園者も少なく、日差しも弱いため寂しさを感じます。水際線に広がる葦原や周囲に貯まる枯れ葉に囲まれて、一人ベンチでの瞑想もふくらみます。

■ 連載『水辺からのメッセージ』のバックナンバーは JRRN ホームページ内の以下のページよりご覧いただけます！

<http://jp.a-rr.net/jp/news/member/category/mizube>

JRRN 会員・ARRN 関係者からのお知らせ (2019年2月末まで提供分) Information from member

【JRRN 会員からの提供情報】

■「第 204 回 河川文化を語る会『未来のために知っておきたい、海とプラスチックの話』」のご案内 (3/29 開催)

公益社団法人日本河川協会様より御提供頂いたイベント情報です。

【第 204 回 河川文化を語る会】

- ◆テーマ：未来のために知っておきたい、海とプラスチックの話
— 保津川から取り組む海ごみの発生抑制策—
- ◆講師：原田 禎夫 (はらだ さだお) 氏
(大阪商業大学公共学部准教授／NPO 法人プロジェクト保津川代表理事)

※本講演会は、新型コロナウイルスの感染リスク拡大防止のために「中止」となりました。

- ◆参加費：無料
- ◆申込み／問い合わせ：公益社団法人 日本河川協会
- ◆詳細は以下参照：<http://jp.a-rr.net/jp/news/member/3603.html>

【JRRN 会員からの提供情報】

■「第 24 回 荒川流域再生シンポジウム～河川の自然再生と自然災害～」のご案内 (3/22 開催)

NPO 法人荒川流域ネットワークより、3/22 (日) に埼玉県嵐山町にて開催される「第 24 回 荒川流域再生シンポジウム～河川の自然再生と自然災害～」のご案内を頂きました。

昨年は台風 19 号による洪水が東日本の各地で起こり、入間川水系でも越辺川や都幾川で災害が発生しました。気候変動による環境の変化が心配される現在、河川の自然再生とどのように調整を図るかが、これからの大きな課題になってきました。今回はそれらの問題についても話し合いたいと思っています。

※本講演会は、新型コロナウイルスの感染リスク拡大防止のために「中止」となりました。

- ◆主催：NPO 法人荒川流域ネットワーク
- ◆プログラム：以下の案内チラシ参照
- ◆詳細は以下参照：<http://jp.a-rr.net/jp/news/member/3609.html>

【海外からの提供情報】

■「RRC (英国河川再生センター) 最新会報」紹介

RRC (英国河川再生センター) の最新会報 (2020 年 1 月号) が事務局より届きました。

本号では、2020 年の英国河川賞募集と RRC 年次講演会参加申込案内、また河川及び湿地再生事業の入札案内等が掲載されています。

- ◆詳細は以下参照
<http://jp.a-rr.net/jp/news/member/3613.html>

【海外からの提供情報】

■「ECRR (欧州河川再生センター) TECHNICAL Newsletter 最新号」紹介

ECRR (欧州河川再生センター) より「TECHNICAL Newsletter」の最新号 (2020 年 2 月号) が届きました。

本号では、水力発電における河川生態系管理、オランダの河川研究プログラム River Care、ダム撤去やダムの生態学的補償事例、また市民科学による河川再生の取組等が紹介されています。

- ◆詳細は以下参照
<http://jp.a-rr.net/jp/news/member/3637.html>

JRRN 会員募集中 JRRN membership

■ JRRN の登録資格（団体・個人）

JRRN への登録は、団体・個人を問わず**無料**です。市民団体、行政機関、民間企業、研究者、個人等、所属団体や機関を問わず、河川再生に携わる皆様のご参加を歓迎いたします。

■ 会員の特典

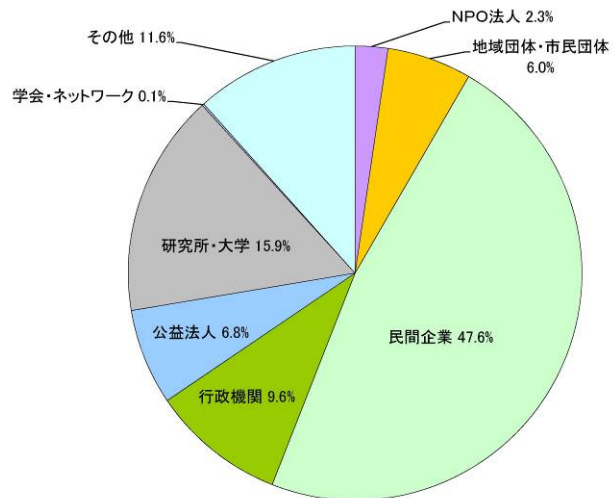
会員登録をされた方々へ様々な「会員特典」をご用意しています。

- (1) 国内外の河川再生に関するニュースを集約した「JRRN ニュースメール」が週 1 回メール配信されます。
- (2) 国内外のセミナー、ワークショップ等の開催情報が入手できます。また JRRN 主催行事に優先的に参加することが出来ます。
- (3) 必要に応じた国内外の河川再生事例等の情報収集の支援を受けられます。
- (4) JRRN を通じて、河川再生に関する技術情報やイベント開催案内等を国内外に発信できます。
- (5) 韓国、中国をはじめとする、ARRN 加盟国内の河川再生関連ネットワークと人的交流の橋渡しの支援を受けられます。

■ 会員登録方法

詳細はホームページをご覧ください。

<http://www.a-rr.net/jp/member/registration.html>



2020年2月29日時点の個人会員の所属構成
 (個人会員数：800名、団体会員数：60団体)
 ※2月の新規入会数：個人会員1、団体会員1

JRRN 会員特典一覧表（団体会員・個人会員）

提供サービス	JRRN 個人会員	JRRN 団体会員	非会員 (一般)
1 ホームページへのアクセス及び記事へのコメント入力 ※1	◎	◎	◎
2 ホームページ「イベント情報」欄でのイベント掲載 ※2	◎	◎	◎
3 ニュースメール(週1回)の配信 ※3	◎	◎	×
4 Newsletter(毎月)及び年次報告書(年1回)等の発刊案内メールの配信 ※3	◎	◎	×
5 JRRN/ARRN主催行事の優先案内・優先参加 ※4	◎	◎	×
6 国内外の河川再生関連情報・技術収集や専門家・組織紹介の支援 ※5	◎	◎	×
7 ホームページ「会員からのお知らせ」内及びニュースメール「会員からのご案内」欄で団体が関わる行事・出版物・製品等の案内の掲載 ※6	△※7	◎	×
8 ホームページ「会員登録状況」「国内団体」内及び年次報告書内で団体名の掲載	×	◎	×
9 ARRN活動に関連する英語ニュース(ARRN Newsletter等)の不定期配信 ※8	×	◎	×
10 JRRN及びARRNが保有する国内外専門家・団体等との連携等の支援 ※9	×	◎	×

会員特典詳細はウェブサイト参照：<http://www.a-rr.net/jp/member/benefit.html>

【お気軽にお問い合わせください】

日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN) 事務局



〒104-0033 東京都中央区新川 1 丁目 17 番 24 号 NMF 茅場町ビル 7 階 (公財) リバーフロント研究所 内

Tel:03-6228-3865 Fax:03-3523-0640 E-mail: info@a-rr.net

URL: <http://www.a-rr.net/jp/> Facebook: <https://www.facebook.com/JapanRRN>